

食物アレルギー症状への対応及び救急体制

アレルギー反応症状発生

〔第1通報〕 第1発見者が応急手当をするとともに、保健室・担任に連絡

状況把握（意識反応の有無，呼吸，皮膚の様子，眼の充血等）

* 患児を一人にしない

【症状】

【応急手当】

アレルギーを含む食品を口に入れた時
* 口内違和感は重大な症状

・口から出し，口をすすぐ
・大量に摂取した時は飲み込ませないように注意して吐かせる

皮膚についた時

・触った手で眼をこすらない ・洗い流す ・冷やす ・温める

眼症状（かゆみ・充血・結膜浮腫）が出た時

・洗眼 ・冷やす ・温める

○安静にし経過観察（第一発見者，養護教諭，担任）

- ①足を高く（15～30cm）して寝かせる
- ②気道確保（必要時）
- ③緊急常備薬がある子は使用（内服・点眼）
- ④皮膚や眼のかゆみは冷やすか温める
- ⑤エピペン準備（処方されている者のみ）

○観察事項

呼吸の様子・悪心・嘔吐・腹痛・発疹・意識の状態・
口内症状（違和感・しびれ・口唇浮腫等）

30分以内に症状改善すれば，その後経過観察等

保護者に連絡（担任）

迎いの要請
医療機関受診を勧める

アナフィラキシー症状発生

〔第2通報〕 担任は管理職に報告

【症状】

【応急手当】（第一発見者，養護教諭，担任）

・皮膚・粘膜症状が拡大傾向（じんましん・かゆみ・
発赤・口内口唇や舌の腫れ・喉の腫れ）
・呼吸困難（息切れ・咳込み・息が吸いにくい・喘鳴・
声が出にくい）
・消化器系症状の悪化（嘔吐・強い腹痛）
・傾眠，意識障害等

- ①足を高く（15～30cm）して寝かせる
- ②頭部後屈あご先挙上法による気道確保
- ③AED準備
- ④エピペン注射（処方されている者のみ）

* 大腿部外側

◎エピペン注射の目安

初期症状（口内の違和感・しびれ・口唇浮腫・悪心・嘔吐・
腹痛，咳込み等）の内に，ショック症状が起こる前

保護者に連絡（担任）

〔第3通報〕
〈管理職〉119へ

救急車要請

（エピペン使用した場合は，
その時刻を伝える）

〔* 救急搬送時の関係機関への連絡〕

〈管理職〉→ 学校医

〈係長〉→ 大学

医療機関受診（事情が分かる者が付き添う）

主治医・緊急搬送先を確認

（アレルギー管理指導表・緊急連絡カード持参）

使用済みエピペン注射器を提出する

学校医 月山クリニック

TEL 073-476-2300